

地域課題解決の動きを支える体制は十分か

# 地域課題解決のために活動している団体を支える体制は十分か。



是永 宙 議員

答

関係機関の協力のもとに、協働のまちづくりを推進します。



高島市社協が事務局をつとめる住民福祉ネットワーク会議の様子

高齢化と人口減少が進む高島市においては、買い物や通院などの日常生活での移動困難、自治会役員の人材不足、認知症など支援の必要な人への見守り、災害時の住民避難など様々な地域課題が浮き彫りになってきており、それらの地域課題解決のために、様々な市民

団体が活動に取り組み、福祉事業所などが事業を立ち上げて活動されている。

問

地域課題解決の活動をされている団体に伴走し、支えていく市の体制は十分か。

答

市民生活部長

地域社会の課題が多様

化・複雑化してきている中で、公共的な課題のすべてを行政のみが担うことは難しくなっており、そのため、地縁の自治組織やボランティア組織、NPOなどの多様な主体が協力して地域課題に対応していくことが必要となっています。そのため、市の関係部局はもとより、社会福祉協議会やたかしま市民協働交流センターとの連携を図りながら集落座談会などの取り組みを進めており、引き続き、関係機関の協力のもとに、市民協働のまちづくりを推進したいと考えています。

場を持つことよりも、日頃から自由に意見交換ができるような関係づくりをしていくことが重要だと考えています。

答 健康福祉部長

「誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり」を目指して活動しています。したがって、福祉部署とまちづくり部署がそれぞれ地域課題を共有するということは大変重要であると認識しており、今後ともより一層、連携を深めてまいりたいと考えています。

## その他の質問

●市内学校におけるコミュニケーション・スクールとそれを活かしたまちづくり

問

福祉部署とまちづくり部署との定期的な連携会議が必要と思うがどうか。

答

市民生活部長

これまでから可能な限りの情報連携を図っており、連携の方法としては会議の



大槻 ゆり子 議員

### 命を守る災害対策について

## 各地区の自主防災計画で

## 避難のあり方を明確にすべきだ。

不安を感じる時は、地区避難所に避難できるように、自主防災計画に明記する事が大切です。

答

問 自主防災計画で避難

のあり方を明確にすべきだ。

答 副市長

204の自治会のうち自主防災組織とあわせて自主防災計画が作られているのは101の地域です。その内容は様々でさまざまな充実を図る必要があります。

避難情報が発令される前であっても不安を感じるのであれば、先ず、地区避難所に避難できるように、各地域の自主防災計画に明記することは大切だと考えます。

問 住民への情報伝達に

SNSやアプリの活用は。

答 副市長

防災行政無線・メール配信など広く情報配信していますが、他の情報伝達手段についてもさらに検討します。

問 登下校時の防犯対策、危険なブロック塀

などの安全対策は。

答 副市長

登下校防犯プランに基づき警察署と連携強化したほか、地域との連携強化策として子ども安全リーダー連絡会幹事会で意見交換を行う予定です。

また、公共施設の緊急安全点検を実施し、湖西中や青柳小で対策を講じました。側溝や水路についても合同点検を実施しました。

問 熱中症対策は。

答 副市長

訪問・見守り等で確認や相談を実施しました。

また、生活保護世帯へのエアコン購入資金の支援策として、県や市の社会福祉協議会が実施する貸付制度を積極的に紹介したり、国の実施するエアコン購入費用の支給制度について説明を行い命を守ることを促しました。

問 備蓄品に液体ミルク

の導入を。

答 副市長

女性や子どもの視点に立った防災備蓄品は必要であり、液体ミルクは災害時に有用だと考えます。今後の動向を注視していきます。

### その他の質問

● 持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みで地域づくりを



台風、豪雨災害、夏の猛暑日の状況は今後も続くと予想できる。市民の安全・安心、生命と財産を守るための最大の予防対策強化が重要だ。

問 タイムラインの検証は。

答 副市長

事実ごとにタイムラインの行動やタイミングが異なるので、その都度、的確な情報を発信します。



# 「クビアカツヤカミキリ」による被害の防止について

## 広報たかしまで周知し、桜の管理者などに説明をするなどが考えられるが。



高木 広和 議員

答

市のホームページに掲載し、広報たかしま等を通じて周知していきます。

特定外来生物に指定された「クビアカツヤカミキリ」は、サクラやモモなどの幹を食害し、枯死に至らしめることで知られている。近隣府県に被害が発生していることから、市内への侵入も時間の問題である。

ので、誰でも発見することができる。市民を主体とした監視体制を構築するためには、見つけ方の説明と情報提供依頼を定期的に繰り返し行う必要があると考えるが。

桜の管理者などについては説明会を行い、情報提供を直接お願いするべきと考えるが。

早期に駆除できるよう協力してまいりたいと考えています。

問 広報たかしまで市民の方々に周知するとともに、桜の管理者や保全グループ、自治会および果樹栽培農家などに情報提供や説明をするなどが考えられるが、どのように情報共有を図っていくのか。

答 環境部長

市のホームページに掲載し注意喚起をしています。今後とも広報たかしま等を通じて広く市民に周知していきたいと考えています。

問

「クビアカツヤカミキリ」に食害されると、木くずが多く出てくる

答 環境部長

市のホームページで注意喚起をしており、今後とも、管理者において早期に発見できるように、周知を図っていききたいと考えています。

問

桜の管理者などと連携して、駆除に必要な資材の確保や、見つけたらすぐに駆除を実施する体制づくりを今から進めておくことが必要と考えるが。

答 環境部長

管理者での早期発見に努めていただければと考えております。

簡易な駆除の方法は、国や県のホームページに掲載されています。

2018年1月15日より規制が開始されています  
クビアカツヤカミキリは、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されました。

※特定外来生物は、飼育(飼育)保管、輸入、販売、譲り渡し、野外へ放つことが禁止されています。  
※外来生物法に違反すると、個人の場合は最大で300万円の罰金もしくは3年間の懲役、法人の場合は最大で1億円の罰金が科されます。

環境省

クビアカツヤカミキリに関する環境省のチラシ



早川 浩徳 議員

社会教育に関わる  
公共施設再編について

図書館・公民館の再編の方針は

どのようになっているのか。

図書館は中核館への集約を、公民館は機能移転による複合化を検討します。

答

公共施設再編計画における図書館・公民館の基本方針や、あり方についての考え方を問う。

問 図書館・公民館の再編の基本方針は。

答 教育総務部長

今津公民館は今津東コミュニティセンターへ機能移転による複合化を検討



安曇川公民館

し、図書館は今津・安曇川を中核館とし、2館への集約を検討します。

問 公民館とコミュニティセンターは設置目的が違うが複合可能か。

答 教育総務部長

新旭公民館が高島市観光物産プラザとの複合施設であるように、設置目的の違いがあっても特段の支障はないものと考えます。

問 再編に伴うサービスや利便性の低下を防ぐ具体的な方策は。

答 教育総務部長

現時点では提示できる段階ではありませんが、今後



今津図書館

関係者と協議を行い検討します。

問 再編について公民館運営審議会や図書館運営協議会の意見を反映させる仕組みは。

答 教育総務部長

直接意見を反映させる仕組みはありません。

問 他市にある「あり方検討委員会」設置は。

答 教育総務部長

公共施設再編計画の策定に当たっては、専門家や市民アンケート等の市民の皆さまのご意見を踏まえ策定しており、現段階で「あり方検討委員会」設置予定はありません。

問 図書館サービスの維持には、学校図書館との連携が有効では。

答 教育総務部長

学校教育と社会教育の連携についても今後の検討課題です。

問 今後の公民館は、職員が地域内で課題を把握することが必要では。

答 教育総務部長

大変重要であり、支所等の市長部局や、各社会教育施設との連携・協働と併せて検討したいと考えます。

問 起業支援などビジネス図書館のような取り組みについては。

答 教育総務部長

本市の図書館においても、起業や就業などを指す方々への資料・情報提供の重要性は認識しており、まずは今ある資料を有効活用しながらサービスの展開を図りたいと考えます。

その他の質問

● ICTを活用したまちづくりについて